

令和5年4月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

## テングサ作柄調査が始まりました

令和5年の漁期に向けたテングサ作柄調査が3月9日の白浜地区の調査から始まりました。今年度は伊豆地域の12地区の35地点で潜水調査を実施する予定です。調査では、目視で漁場周辺のテングサの状況を観察するとともに、1㎡の範囲のテングサを採取して着生状況を把握します。調査は4月下旬まで実施する予定です。既に調査が終了した伊豆東岸の調査点では、昨年と比較して同程度か、場所によっては着生量が増加している漁場も確認されています。特に下田地区では、着生量が大きく増加していました。今年度のテングサ作柄予察は全地区の調査が終了した後、5月中旬頃にお知らせする予定です。

解説：テングサの利用：テングサを煮出した液を固めたものが「ところてん」、ところてんを凍結、脱水して乾燥したものが寒天になる。



←テングサ漁場での採取りの様子

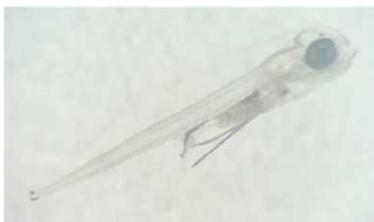


→  
白浜地先の一面にテングサが着生した漁場

## キンメダイ種苗生産研究の成果を報告

当研究は水産庁委託事業（新規栽培対象種資源対策事業）で実施していますが、3月2日、関係機関による成果報告会が開催され、各参加機関が今年度の成果を報告しました。

当場のキンメダイの研究課題に関しては、①親魚の採卵タイミングについて捕獲後の経過時間とともに採卵重量が増加する傾向がみられた、②ふ化仔魚の飼育水温は20～25℃が適している、③仔魚への給餌試験でマガキ幼生の摂餌を確認した等の内容を報告しました。これらの成果や新たな知見を踏まえ、新年度は、親魚の生存安定化と採卵試験、仔魚の飼育条件等の検討を進め、より長期間の仔魚飼育を実現させたいと思います。



↑仔魚の消化管内にマガキ幼生を確認

## 下田市水産・海洋学講座で講演

下田市教育委員会が3月2日に開催した令和4年度水産・海洋学講座において、当场職員が「黒潮大蛇行と磯焼け」について講演しました。現在、黒潮が大蛇行し、伊豆では海藻カジメの磯焼けが発生していますが、それに魚類ブダイの食害が関係していることを解説しました。講演は録画され、You Tubeの下田市教育委員会生涯学習課チャンネルから今後公開されます。右のQRコードから是非ご覧ください。



↑講演の様子

4月の予定 ●テングサ作柄調査（各地） ●アワビ測定 ●イセエビ測定 ●キンメダイの親魚採捕調査

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：[suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp) ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。